



沖縄からの参加と「辺野古の海への土砂搬入をやめさせよう」との合言葉に開かれた集会＝11日、衆院第2議員会館

# 辺野古新基地建設中止を

## 議員会館で集会 埋め立て許さない

沖縄県の民意を無視して、岸田政権が「代執行」で進める名護市辺野古の米軍新基地建設の即時中止を求める院内集会在11日、衆院第2議員会館で開かれました。新基地建設の即時中止とともに、米兵による少女や女性へ

の性暴力に抗議し、謝罪と十分な補償を求めるなどの抗議文を採択しました。「止めよう！ 辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会が主催し、100人が参加しました。辺野古土砂搬出反対全国連絡協議会（土

砂全協）の松本宣崇事務局長は、「大浦湾は多様なサンゴとともに、シユゴンやアオウミガメの生息に関わり、生物多様性の観点から重要度の高い海域です。埋め立ては断固許されないと強調しました。

平和をつくり出す宗教者ネットのキム・ソンジェさんは、沖縄本島南部の戦跡国定公園には沖縄戦戦没者の遺骨が多数あり、戦没者遺骨収集事業は「国の責務」としていると指摘。「戦没者の遺骨まじりの土砂採取は、戦没者の尊厳と遺族の心を踏みにじるもの。新基地建設の土砂に使ってはならない」と批判しました。

衛省・環境省交渉で、沖縄平和市民連絡会の北上田毅さんらは、新基地建設に使う土砂搬入作業現場で抗議の牛歩行動をしていた市民らが死傷した事件を取り上げました。「見舞いにも行かないのは不誠実。謝罪とともに原因解明や安全対策を確認しないうちは土砂搬送を再開してはならない」と強く要請しました。

集会後に行われた防